

インフルエンザの薬と登園基準について

明けましておめでとうございます！本年も、保護者の皆様が安心して利用できるよう、あゆみキッズの運営に努めて参ります。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

今年は、夏の季節よりインフルエンザの発症報告が全国で見られていましたが、12月の全国1医療機関あたりの感染者数は、沖縄県を除いた46都道府県で注意基準レベルを超え、感染者が多い状況です。

今回はインフルエンザの薬、また登園基準について掲載します。

●インフルエンザの薬




インフルエンザ治療薬の一覧表

名称	タミフル	ゾフルーザ	イナビル	リレンザ	ラピアクタ
製品写真					
投与方法	内服		吸入		点滴
投与回数	1日2回5日間	1回で終了		1日2回5日間	1回で終了
その他の特徴	<ul style="list-style-type: none"> 最も臨床実績がある薬 成人の場合、16.7時間くらい症状がある時間を短縮する 小児の場合、29時間くらい症状短縮効果がある ただし、小児の精神症状などに注意 	<ul style="list-style-type: none"> タミフルよりも症状がでる時間が短い傾向にある薬 12歳以上ではタミフルと同等の推奨度 ただし、耐性ウイルスの出現には注意 	<ul style="list-style-type: none"> タミフルよりも症状がでる時間が短い傾向にある薬 特に小児では著明に短縮したデータも ただし、肺炎や気管支喘息合併例では使用すべきではない 	<ul style="list-style-type: none"> 最も日本で早く発売された薬 プラセボと比較して、1.5日短縮 ただし、肺炎や気管支喘息合併例では使用すべきではない 	<ul style="list-style-type: none"> 点滴のため、内服も吸入もできない人にも投与することができる ただし、投与できる場所は限られる

●登園基準

・幼児は解熱後3日経過、小学生以上は解熱後2日経過となります。

インフルエンザ登園基準

 = 発熱
  = 解熱
  = 登園許可

発熱期間	発症日	発症後 1日目	発症後 2日目	発症後 3日目	発症後 4日目	発症後 5日目	発症後 6日目	発症後 7日目	発症後 8日目
1日									
2日									
3日									
4日									
5日									